

# 「ハイセイコー」 で妻に叱られた こと

後編

土居 修



1972年(昭和47年)7月12日、ハイセイコーは初戦の大井競馬場のダート1000mを59秒4のコースレコードで走破。2着馬に8馬身の着差をつけて優勝する。続く2戦目でも16馬身の大差をつけて逃げ切った。「修羅場であり博愛場、義理と人情の男の世界。女なんて穴場(投票場)のオバチャン以外に見たこともなかった」(典厩五郎)という競馬場の観念を否定する名馬伝説の始まりであった。だが、高校一年生にとって競馬は無縁の世界。彼はあくまでも一頭の競走馬でしかなかった。

破竹怒涛の4連勝。思わず、「きみのためならがんばれる」と唱えていた。些かの躊躇もなく、おのれの青春を賭けようと考えたのである。「愛と誠」(週刊少年マガジン)で、早乙女愛への報われない愛を「きみのためなら死ぬ」と岩清水弘が発するの翌年のこと。思い返せば、それより一年も前にわずか15歳11か月の少年が至高の純潔性を身に纏う神業。誰も褒めてくれないなら、自分自身で褒めるしかない。

馬との平均着差は9馬身の快挙。「よくがんばっているね、ハイセイコー」と呟きながら、柔道衣に袖を通した日々がなつかしい。

翌年(1973年)1月、彼は中央競馬へ移籍する。擬人化され、「地方から遠い上がった野武士が貴公子に挑む」という構図がマスコミによって喧伝された。「地方」の悲哀に沈んでいた高校生が「野武士」って、カッコイイよな」と夢想したのは、至極当然のことであった。一頭の競走馬に寄り添いながら、柔道で燃えた。「中央」に勝つという野心に燃えた。「競馬が人生の縮図なのではない。逆だ。人生が、競馬の縮図なのだ」という寺山修司の世界観を理屈ではなく、本能で享受したのである。やはりと思う。自分自身で褒めるしかない。

4月8日の夕食後であった。長男がニヤニヤしながら差した息を呑んだ。川崎競馬第2レースで一着となった競走馬「ウルトラヨウコ」が映し出されていたのである。不意の落涙。競馬がロマンであることとをあらためて確信した。「なんなのよ」と覗き込む妻。「一着じゃない。さすが、ウルトラヨウコだわ」邪念のない熱女だと感極まっていたら、「どうして、馬券を買わなかったのよ。ばかじゃないの」と、またしても叱られた。叱られながら、馬券を買ってみるのもいいかなと考えていた。

10月9日のゴールドジュニア戦でもハイセイコーは大井競馬場のダート1400mのコースレコードを更新する。

4月15日の中央競馬での3戦目。クラシック三冠のひたむきな。

3か月後の12月15日、有馬記念を最後にハイセイコーも引退する。有終の美を飾ることはできなかったが、宿敵タケホープに先着する意地を見せている。中央競馬に移ってからの戦績は16戦7勝。サクセスストーリーは完成したとは言いがたい。けれども、果敢に戦い、「中央」に一矢を報いようとするハイセイコーに私自身の青春を交錯させた日々

4月15日の中央競馬での3戦目。クラシック三冠のひたむきな。



## ただいま奮闘中 ゲストハウス、グランピング施設経営

菅岡 緑さん



2018年古民家ゲストハウスSante(サンテ)を開業し、昨年三月退職後須崎市野見にプライベートグランピング施設Gran Glam(グラングラン)をオープン、友人と二人で運営している菅岡緑さん。

「一階はリビングと和室、二階はベッドルームと和室となります。アウトドアのバーラウンジスペースは専有していただけますのでプライベートに大人の時間を楽しんでください。また庭の松の木を眺めながら、縁側でお茶をいただく。二階の欄干に座って、のんびりおしゃべりしてください。そんなひと時を過ごしてくださる方をお待ちしています。」

この記事は菅岡さんが両施設の経営をしているというところを紹介するつもりでしたが、施設のコマーションルになってしまいました。ただ高退協の会員が退職後も様々な分野に挑戦している、その一端が伝わればありがたいと思います。(文 大川法由紀)

家族や友人、仲間とご利用ください  
プライベートグランピング施設  
**Gran Glam (グラングラン)** 須崎市野見  
古民家ゲストハウス  
**Sante (サンテ)** 須崎市桑田山温泉近く

「グランピング」は「グラマラス」(魅力的な)と「キャンプ」が合わさって作られた造語です。テントの設置や荷物の準備やアウトドアの知識がなくても着替えるなど必要最低限のものを揃えたら手ブラでも楽しめることです。そのため、普通のキャンプでは必要なテントやバーベキューコンロといったキャンプ用品は必要ありません。キャンプを初めてやってみたくらいの準備など不安なときはグランピングを楽しむのがおすすめです。

「一階はリビングと和室、二階はベッドルームと和室となります。アウトドアのバーラウンジスペースは専有していただけますのでプライベートに大人の時間を楽しんでください。また庭の松の木を眺めながら、縁側でお茶をいただく。二階の欄干に座って、のんびりおしゃべりしてください。そんなひと時を過ごしてくださる方をお待ちしています。」

一方古民家ゲストハウス「サンテ」はホームページで次のように紹介している。

お問い合わせは  
ACTすさき菅岡緑  
090-7628-3094  
actsusaki@gmail.co

グラングランのQR →  
(上 フォトギャラリー  
下 予約サイト)

↑ゲストハウス サンテのQR

1日1組の  
プライベート  
グランピング

Gran Glam

予約サイト  
Airbnb

